

## P モジュール/W モジュール/C モジュール/V モジュール置換え・混在時の注意事項

### 1. P モジュール/W モジュールと C モジュール/V モジュールの搭載 ASIC の違い

- ・ P モジュール/W モジュールは、 モーションチップに G9003(※1)を搭載しています。
- ・ C モジュール/V モジュールは、 モーションチップに G9103C(※1)を搭載しています。

※1 : G9103C は G9003 の上位互換最新版チップ

### 2. 一般的な注意点

- ・ P モジュール/W モジュール用に正しく書かれたプログラムは、 C モジュール/V モジュールでも動作します。(※2)  
(この時、 C モジュール/V モジュールは、 P モジュール/W モジュール同等品として動作します。)
- ・ P モジュール/W モジュール用の動作データ書き込み関数には“hpx\_”付きの関数、  
C モジュール/V モジュール用の動作データ書き込み関数には“hcx\_”付きの関数 を使用すれば、  
C モジュール/V モジュール固有機能も利用しながら混在動作可能です。  
しかし、間違いを避ける意味からは、混在使用しないことを推奨します。
- ・ スレーブ実装順位は、左から右に、 P→W→C→V の順になります。

※2 : 通常はあり得ませんが、誤ってプログラムに、動作中に次のスタートをする記述が含まれている場合、

P モジュールでは無視しますので、実動作に影響しない場合があります。

このような状態のまま C モジュールに置換えると想定外の動作になる可能性があるので要注意です。

(C モジュールの場合、動作中のスタート書き込みは予約動作となり、プリレジスタのデータがレジスタへシフトするため)